

宇和島市水道局

からのお知らせ

冬の冷え込みが厳しくなると水道管が凍結し、水が出なくなったり、水道管が破損することがあります。

水道管破損などの事故を防ぐために、家庭で簡単にできる凍結防止対策や凍結した場合の対処法をお知らせします。

凍結しやすい条件・場所は

気温が**マイナス4度以下**になると、水道管が凍結し、破損することがあります。

特に、屋外で次のような場所の水道管は凍りやすいので、早めに凍結防止の準備をお願いします。

- ◆ 管が露出している水道管
- ◆ 家の北側などで、日の当たらない場所の水道管
- ◆ 風当たりの強い場所の水道管

水道管の凍結防止方法

露出している水道管や蛇口、給湯器の配管に保温材、古い毛布や乾いた布などを巻き付けます。

その上から、ビニールテープなどを巻き、濡れないように保温します。(布などは濡れると効果がありません。)



防寒保温チューブと外装テープはホームセンターなどで手に入れることもできます。



水道管の凍結破損に気を付けましょう



宇和島市水道局凍結 🔍 検索

凍結して水が出なくなったら

凍結で水が出ないときは、自然に解けるまで待つことが基本ですが、急ぐ場合は、凍った箇所にはタオルなどを巻き付けて、**40℃～50℃程度のぬるま湯**をゆっくりとかけてください。

(余熱も利用出来て効果的です。)



簡単漏水チェック

1. 家庭の全ての蛇口を閉めます。
2. 水道メーターを確認します。

このパイロットが回っていたら漏水しています



水道管が破裂したときは

速やかにメーターボックス内のバルブを閉めて、漏水を止めてください。

次に、裏面の「宇和島市水道局指定給水装置工事業者」へご連絡ください。

※ 宅内の水道管破損による修繕費用は利用者の負担となります。



- ・メーターボックス内ではなく、少し離れた位置にバルブがある場合もあります。
- ・メーターボックスは、鉄製の場合もあります。

空き家・空き部屋の所有者、長期間留守にする方へ

不在の間に、屋外にある蛇口の立ち上がりやボイラーなどの周辺配管が凍結して破裂した場合、修繕費は自己負担となり、漏水した水道料金も高額になる場合があります。事前の凍結防止対策を心がけましょう。

- ◆ 漏水が発生するタイミング
凍結による水道管の破損や漏水は、昼ごろに気温が上昇して氷が解けて発生することが多く、長時間漏水に気付かない場合があります。
- ◆ 漏水の予防方法
お出かけ前にメーターボックス内にあるバルブを閉める。

凍結による漏水で断水になることも

凍結により漏水が起こる場合、1箇所2箇所ではなく、同時に複数箇所が発生します。1箇所の漏水量は少なくても、合計した漏水量はとて多く、水の供給が間に合わず配水池の水が減っていきます。

漏水を止めるのが遅くなるほど配水池の水が急速に減っていき、空になるとその地域全域で断水になる場合があります。



